

都市再生整備計画(第5回変更)

子育て・医療が連携したまち計画地区

岐阜県 美濃加茂市

令和7年3月

事業名	確認
都市構造再編集支援事業	☒
都市再生整備計画事業	☐
まちなかウォークアブル推進事業	☐

目標及び計画期間

様式(1)－②

都道府県名	岐阜県	市町村名	美濃加茂市	地区名	子育て・医療が連携したまち計画地区	面積	172 ha
計画期間	令和2年度～令和6年度	交付期間	令和2年度～令和6年度				

目標 ○市の中心市街地における子育て環境の整備、市民活動が活性化する施設の整備と民間医療機関等と連携したメディカルシティ構想の実現 ・市立保育園を統合し、中心市街地に新たな(仮)乳幼児保育施設を建設することと、隣接する2公園を整備することによる、子育て環境の満足度の上昇 ・子どもから大人まで広く活用され、市民の健康増進の核となる診療所の整備、活用 ・子育て世代を孤立させない、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を目標とするみのかも版ネウボラの推進
目標設定の根拠 都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の考え方を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) 当市は今年度を市の20年後の将来像の実現に向けたスタートの年と位置づけ、立地適正化計画の策定、第6次総合計画等を策定した。全てに共通する指針である、ウオーカブルシティMinokamo「すべての健康のために、歩き続けるまち」の実現に向け、用途地域外は地区交流センター・支所機能を中心としたサテライト拠点として維持、整備。用途地域内においては、JR美濃太田駅を中心とした都市拠点、JR古井駅を中心とした文教交流拠点、民間医療機関とも協力し整備する蜂屋南地区に配置した医療拠点の3拠点を都市機能誘導区域として定め、それぞれに特色を持った地域として整備を進める。 JR美濃太田駅周辺の都市拠点や、JR古井駅周辺の文教交流拠点においては、図書館、文化会館、体育館、生涯学習施設、保育園といった公共施設をはじめ、金融機関、大規模小売店舗、病院、コンベンションセンター、民間福祉施設といった民間施設が現存し、維持整備していく。特に老朽化した保育園については、都市拠点区域内における未活用地の有効活用と共に、昨今の保育ニーズに対応するため再整備等を早急に取り掛かる必要がある。 民間医療機関等と連携する医療拠点は、JR美濃太田駅等とコミュニティバス等で密接に接続する公共交通網を整備するとともに、診療所、子育て世代包括支援センターを整備し、民間医療機関と密接に協力し市が進めるメディカルシティ構想を実現し、健康なまちみのかもを推進する医療拠点として整備する。特に当市周辺のみならず、世界中から治療に訪れるような医療機関を目指す民間医療機関と、健診や健康相談、健康教育など市の保健業務の中核としてその一翼を担う診療所が近接することにより、他の場所では発現できない魅力的な総合医療と健康増進の拠点となるべく整備を進める。
まちづくりの経緯及び現況 古くから交通の要衝として栄えてきた当地域は、昭和29年に8町村が合併し美濃加茂市となり、国道21号、国道41号の結節点でもあり、市北部には東海環状自動車道的美濃加茂ICがあり、周辺の工業団地には多くの企業が進出し、多くの道路網により発展してきた。またJR高山本線と太多線、長良川鉄道の結節点であるJR美濃太田駅を中心に公共交通網が整備されてきた。 当市は、総合計画にウオーカブルシティ「すべての健康のために、歩き続けるまち」を掲げ、また、まち・ひと・しごと創生総合戦略に女性活躍推進を掲げており、公共交通を活用し歩いて暮らせるまち、市民が健康なまち、女性が活躍できるまちを推進すべく施策を実行している。 しかしながら、近年では、市中心部から離れた用途地域外の地域に住宅地の開発が相次ぐなど、人口集中地区内の人口密度が低下する傾向にあり、市街地は拡散傾向にある。また、現市庁舎をはじめ、保育園等の公共施設が老朽化してきており、市中心部への集積化も含めた再編、再整備の必要性が高まっている。
課題 ・多くの市立保育園が建設から40年程度経過しており、老朽化が進んでいること、多様な保育ニーズの高まりから、子育て環境の満足度が低下している。 ・昭和58年建築の現保健センター施設の老朽化や、求められる保健事業の変化による施設の狭隘性が問題になっている。 ・妊娠期からのワンストップ子育て支援を目標とした「みのかも版ネウボラ」を実現するための核となる施設が求められている。 ・市中心市街地にある街区公園の再整備の声が地元から大きくなってきており、地域コミュニティの維持形成のためにも再整備の必要性が増している。 ・都市機能誘導区域内に各種施設を集約化し、利便性の向上を図っていく必要がある。
将来ビジョン(中長期) ・女性活躍の推進のため、増える保育需要に対応する子育て環境を充実したものにしていく。 ・第6次総合計画の基本構想である"ウオーカブルシティ"の実現のための健康増進の核施設となるべく、整備、運用していく。 ・子育ての悩みなどが気軽に相談でき、切れ目ない支援を目標とするみのかも版ネウボラの実現するための中心施設を建設、運用していく。 ・地域力、防災力が試される現代における、地域活動や防災に対応できる核施設となる公園施設を、地元住民と共に作り上げていく。

都市構造再編集集中支援事業の計画

都市機能配置の考え方
DID地区は美濃太田駅の南側に広がっており、近年徐々にその面積は増加している一方で、DID人口密度や全人口のDID人口が占める割合は低下しており、市街地は拡散傾向にある。そのため、都市機能誘導区域内へ都市機能施設を集積化する必要があり、美濃加茂市立地適正化計画に掲げる、“歩いて楽しい空間の形成”、“市民の健康増進を促す医療拠点の形成”、“子育て、教育環境の充実・強化”、“美濃太田駅周辺における人が集まる拠点の形成”等を実現するため、子育て、健康増進の誘導施設を整備する。
これは、市の第6次総合計画に掲げる、「すべての健康のために、歩き続けるまち」の実現のためにも、また、女性活躍の推進に力を入れているまち・ひと・しごと創生総合戦略の実現のためにも着実に取り組んでいく必要がある。

都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方
都市機能誘導区域に配置する(仮)乳幼児保育施設は、女性活躍や子育て世代の労働力が求められる中、子育て環境の満足度の向上のための施策の一つとして、耐震性がなく老朽化の進んだ現3保育園の統合は、子どもの安全を安心して預けられる環境として、また子どもにとって最適な環境の整備として、必要である。
市民の健康増進の核となる診療所の整備と妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を目標にする”美濃加茂版ネウボラ”の核となる子育て世代包括支援センターを蜂屋南地区に配置した都市機能誘導区域の医療拠点に整備することで、健康増進と総合医療施設の連携強化と集積化が図れる。
また、当可茂地域の拠点病院に隣接することで、市が民と協力し進めるメディカルシティ構想の実現に向け必要な事業である。

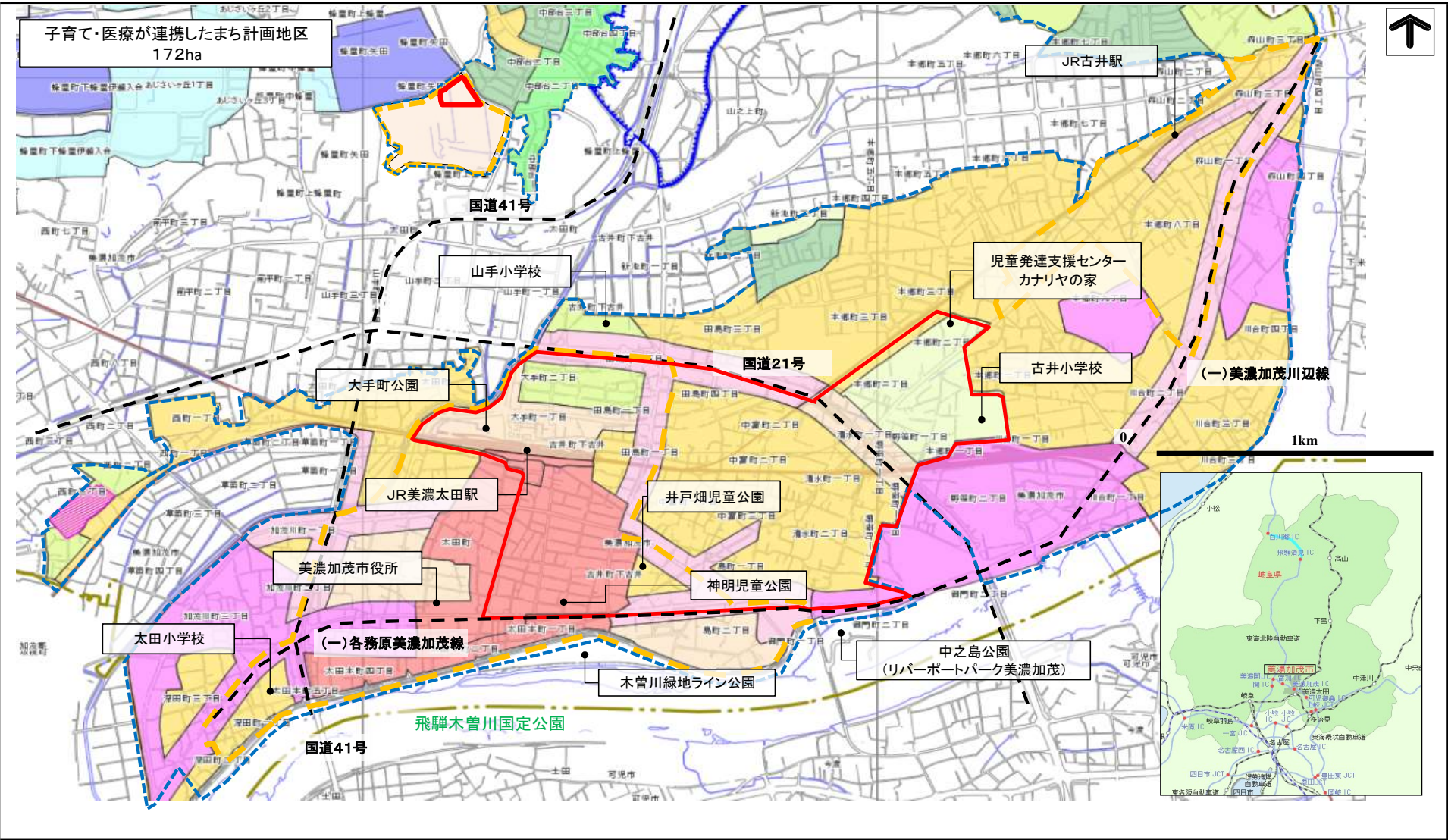
都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等
都市再生土地区画整理事業や市街地再開発事業の特例を受ける場合は当該事業の概要、位置づけを記載。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
(仮)乳幼児保育施設の満足度	%	(仮)乳幼児保育施設の利用者を対象としたアンケート調査	現代の保育ニーズに合わせた(仮)乳幼児保育施設の整備により総合的な満足度を向上させる	71	H30	80	R6
診療所利用者数	人／年	健診、子育てや健康維持の相談等の施設の利用者数	集約した施設の一部に建設することで健康維持をより身近に感じてもらう	14,297	H30	16,300	R6
健康増進、子育て支援等のための講座等の開催数	回／年	診療所、(仮)子育て世代包括支援センターで実施する健康や子育て等のための講座等の開催数	健康増進、子育て等、良好な生活を送るためのスキル向上を目指し、みのかも版ネウボラの実現性を高めていく	209	H30	260	R6

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
・近年高まる3歳未満の乳幼児の保育需要に対応する施設を整備する ・建築から40年程度経過し、老朽化が進む市立保育園の統廃合を含め整備する		道路：市道 誘導施設(社会福祉施設)：(仮)乳幼児保育施設 誘導施設(子育て支援施設 乳幼児一時預かり施設)：(仮)乳幼児保育施設
・子育ての孤立化や、子育て環境の複雑化により子育てに不安を抱く親を支援するみのかも版ネウボラの拠点施設の整備をする ・当地域の核になる総合病院の敷地内に「すべての健康のために歩き続けるまち」の実現に向けた施設を整備し、民間医療機関と連携する		高次都市施設(子育て世代活動支援センター)：(仮)子育て世代包括支援センター 誘導施設(医療施設)：診療所
・都市機能誘導区域内の、市民からの改修要望が強い公園を再整備し、市民の憩いの場、市民活動の拠点を整備する ・来たるべき巨大災害に対応するための緊急避難場所として、DID地域内の公園を整備する		公園：井戸畑児童公園 公園：神明児童公園
その他		
【事業終了後の継続的なまちづくり活動】 ・保育施設に限らず、周辺住民と乳幼児との交流等もできる、集約的施設となるような(仮)乳幼児保育施設の整備を目指す。 ・まち・ひと・しごと創生総合戦略 カミーンノとも連携し、子育てがひと段落した母親の就労支援等も行うことで、女性と若者が輝き、自分らしく生きられるまちを目指す。 ・公園の整備に留まらず、周辺住民を自主的な市民活動ができる団体にし、整備後の施設を広く利活用してもらえることを目指す。 【官民連携事業】 ※都市再生整備計画区域内で、道路占有特例、河川敷地占有、歩行者経路協定、都市利便増進協定を活用する場合には記載する。		

子育て・医療が連携したまち計画地区(岐阜県美濃加茂市)	面積	172 ha	区域	田島町1丁目、2丁目、大手町1丁目、2丁目、太田町、古井町下古井、健康のまち1丁目、本郷町1丁目、2丁目、3丁目、清水町1丁目、2丁目、中富町1丁目、2丁目、島町2丁目
-----------------------------	----	--------	----	--



様式(1)-④-1

(金額の単位は百万円)

統合したB/Cを記入してください

合計(A+B)	2393.5
---------	--------

子育て・医療が連携したまち計画地区(岐阜県美濃加茂市) 整備方針概要図(都市構造再編集集中支援事業)

目標	市の中心市街地における子育て環境の整備、市民活動が活性化する施設の整備と民間医療機関等と連携したメディカルシティ構想の実現	代表的な指標	(仮)乳幼児保育施設の満足度 (%)	71	(H30年度) →	80	(R6年度)
			診療所利用者数 (人/年)	14,297	(H30年度) →	16,300	(R6年度)
			講座等の開催数 (回/年)	209	(H30年度) →	260	(R6年度)

